

Qちゃん
市内に住む小学生



キュー

Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー

つぼくら先生
相馬中央病院医師
福島医大主任教授



廃炉作業の安全対策は？

Qちゃん 先生、福島第一原子力発電所の廃炉作業は、30年から40年ぐらいの長い期間が必要だって教えてくれたけど、作業中の安全対策はとられているのかな？

つぼくら先生 廃炉作業は、作業現場や発電所周辺の放射性物質の濃度などをしっかりと測定・分析しながら安全に進められているよ。ちなみに、日々の分析結果は東京電力のホームページで公開されているんだ。

Qちゃん 廃炉作業は安全に進められているんだね。でも、東日本大震災以上の大きな地震が起きたら、建屋が壊れて放射性物質が広範囲に拡散したりしないの？

つぼくら先生 東京電力は、東日本大震災の1.5倍程度の地震の揺れを受けても建屋の構造が健全であることを確認しているんだ。だから、地震による建屋内の燃料デブリなどへの影響は小さいと考えられているよ。それに加えて、津波対策として防潮堤を設置したり、建屋の中にたまった水が外に出ないようにするなどのさまざまな対策が取られているんだ。

Qちゃん 東日本大震災の時よりも大きな地震や津波が来ることも想定した上で、作業が行われているんだね。

つぼくら先生 そうなんだよ。そのほかにも事故の反省を生かし、消防車や電源車などを必要なときに使えるよう高台に置いておくなどの対策も取っているんだ。

Qちゃん 考えられるだけの準備と安全対策を取っているんだね。それを聞いて安心したよ。これからも事故がないよう、着実に作業を進めてほしいね。

参考資料：東京電力ホールディングスホームページ
▽廃炉情報リーフレット「福島第一原子力発電所の廃止措置等の進捗状況」

▽もっと知りたい廃炉のこと

※廃炉作業に関する「Qちゃんの、つぼくら先生！放射線のこと教えてコーナー」の記事はこちらからご覧いただけます。



今回Qちゃんが分かったこと

▽福島第一原子力発電所の廃炉作業は細心の注意を払って進められていること。

▽廃炉作業の安全対策には、東日本大震災の反省も生かされていること。

●問い合わせ先 放射能対策室（☎ 37-2270）

自家消費野菜などの 放射性物質測定結果

●9月分

▽測定件数 0件

▽基準値を超えた食品 0件

●相馬市で出荷制限などを受けている食品(10月1日現在)

▽クサソテツ(コゴミ)▽タケノコ▽フキノトウ(野生)

▽ゼンマイ▽タラノメ(野生)

▽コシアブラ▽ウド(野生)

▽原木シイタケ(露地)

Ⅱ県の定める管理計画に基づき管理されるものを除く▽原木ナメコ(露地)▽キノコ(野生)

Ⅱ県の定める出荷・検査方針に基づき管理されるものを除く

※最新の情報は、県農林水産物・加工食品モニタリング情報ホームページ内の「出荷制限等一覧」で確認ください。

さい。

ホームページはこちら



◎これまでの食品の検査結果(市ホームページ)

ホームページはこちら



●問い合わせ先 放射能対策室(☎ 37 2270)